

① はまなか

議会だより

NO 126

平成30年10月25日発行



ハッケヨイ・ノコッタ（茶内八幡神社祭）

9月定例会

予 算 一 覧	風力発電施設の維持管理は 6人の議員が町政を問う 雪中翠（戸井 太一さん）	3P～5P 8P～13P 14P
------------------	---	------------------------

「ゆうゆ」を指定管理者で運営

ふれあい交流・保養センター設置条例を全部改正

9月
定例会
12日・13日

9月定例会が12日・13日の2日間の会期で開催され、一般会計・介護保険特別会計・下水道事業特別会計補正予算など（追加議案含む）18議案が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

一般会計補正予算は7600万円を追加し、予算総額77億1108万円となりました。

一般質問では、6人の議員が登壇しました。

霧多布温泉「ゆうゆ」指定管理者の指定を議決

○指定管理者制度による指定の主な内容

- （団体名） 霧多布温泉「ゆうゆ」プロジェクト
- （代表者） ㈱クロエ 代表取締役 黒江 清蔵
- （構成員） ㈱クロエ・(有)中原電器商会・(有)丸ワ綿貫商店
サワベスタジオ・霧多布湿原自然学校
- （目的） 町との協定に基づき、構成員が共同連帯して「ゆうゆ」の管理業務を遂行する。
- （管理料） 初年度2200万円、以後年額3700万円を上限度とする。
- （修繕料） 50万円以上は町費で負担。50万円以下で年額250万円までは指定管理者の負担。
- （指定期間） 10月1日～平成35年3月31日

- ◎指定管理者の運営方針
- (1) 利用者のニーズや時代の要請に対応した事業を充実するなどし、利用促進を図る。
 - (2) 町内外の関係機関や団体と連携・協力し、地域の実情を踏まえた施設運営を図る。
 - (3) 利用者にくつろぎの時間とサービスを提供するとともに、町内外の交流を促進して施設と来町者（ビジター）との懸け橋となる。
 - (4) 利用者に対する接遇について常に注意を払い、定期的な接遇研修などを実施する。
 - (5) 町民や町内事業所、地域社会との良好な関係づくりに努める。
 - (6) 利用者の個人情報保護徹底に努める。
 - (7) 町民サービスの観点から自主事業などを積極的に取り組む。
 - (8) 災害時、緊急時に備えた危機管理体制を構築する。
 - (9) 運営コンセプト「安らぎ空間の提供、交流の架け橋」



気持ちも新たに

補正予算審議から

風力発電施設の維持管理は

問 風力発電施設の修繕料161万円は、制御用ポンプとモーターの交換補修であるが、故障から既に3カ月は経っている。稼働予定とその経過は。

また、風車の外観も錆びている。設置時は、浜中町の観光の名所の一つにしたという話もあったが景観上も良くない。風車は温泉施設「ゆうゆ」の、電源の一助になっているが、度々の故障は負の財産になるのではと危惧する。将来のこ

とを考え、解体撤去の検討は。

答 風力発電の故障経過は6月26日に風車が止まり、原因を調査した結果、制御用ポンプとモーターが損傷していることが判明。

点検業者にモーターの手配を確認したところ、11カ月かかるということからモーターの修理を依頼している。

また、塗装が剥げて錆びている状態にある。今後懸



故障中の風力発電

念されるのは、増幅機のベアリングで修理に5千万円程度かかる。フィット（再生可能エネルギーの固定買取価格制度）の期間が約2年であり、耐用年数も過ぎているので、解体撤去も考

えているが、これにも5千万円程度必要。

今後の対応は、フィットが切れば売電額が半分になるので、それらも鑑み検討したい。

牧草地の食害対策は

問 全額道補助で実施される「中山間地域所得向上支援事業」504万円は、エゾシカ侵入防止電気柵の設置5件分である。

設置される地域と面積などの詳細内容は。

また、事業効果の検証は。

答 この度の補助対象は、電気柵などの資材費のみで設置については自己負担となっている。

実施する地域は、姉別地区1件・厚陽地区2件・熊牛地区1件・浜中地区1件。

シカの食害が顕著な草地で1件あたり20〜25町歩の四方を電気柵で囲うもの。

5件の総面積で、118畝となる。

今年度、効果を探る目的で対象草地の一角を金網で囲い、収量の差を比較検討する作業を実施している。

結果、最大で約2倍の差があり相当な被害であることが明らかとなった。今年度末には、最終的な検証結果をまとめる予定である。

浜中町全体で、年間牧草被害額8140万円と推計されているが、大幅に増える可能性もある。

今後、効果の検証数値を公表しながら、事業の推進を図っていききたい。

町民温水プール改修は

問 温水プール改修は、2000万円である。30年度の工事費が900万円と極端に予算が少ないがなぜか。

答 また、完成が31年8月でオープンが9月。温水とは言え寒くもなるので、水泳大会などに間に合うよう工期の前倒しを検討しては。



町民温水プール（水泳教室）

問 30年度の工事内容は、12月発注で外壁、内壁の撤去のみを行う。31年度は屋根の葺替や内外の壁、床、照明、機械設備の改修で1億3100万円となっている。工期の短縮も検討したが、鉄骨業者の仕事も立て込んでいて難しい。

FWA基地局の無線機補修とは

問 地域情報基盤整備の修繕料342万円の補修内容は。

答 は、琵琶瀬展望台の近辺で一番高いところ、常に風当たりが強く塩害をもろに受けやすいところである。

問 この補修は、無線機の本体が強烈な塩害で傷んだことによる交換のための補正である。

答 無線機本体は設置後まだ6年位しか経ってないが、海岸線の塩害対策を考えなければと思っている。

なお、基地局の設置場所



FWA基地局（琵琶瀬展望台）

姉別改善センター駐車場補修内容は

問 姉別農村環境改善センター駐車場修繕料36万円の内容は。

答 また、地域から駐車場の拡張と奥にある砂利敷きの駐車場整備の要望は。

問 現在、舗装されている駐車場から獣魂碑がある砂利の駐車場へ侵入する部分に縁石の段差がある。その

段差を解消し、冬季間の除雪をしやすいとする補修である。

また、地域要望は、駐車場のスペースを確保するため、植え込みの解消や獣魂碑裏側の林帯も含んだ造成であるが、費用的にも相当な額になる。駐車場不足は姉別保育所の駐車場を借りるなどで当面対応していく。

お試し住宅の補正内容と募集時期は



改修したお試し住宅の内部

問 お試し住宅の補正27万円は、入居者確定によるものか。

なお、募集に当たってはホームページなどで周知することであったが、募集の時期は。

答 入居者は、現段階で決まっていない。

今回の補正は、入居希望しやすい環境を整えるとい

うことで、寝具や鍋・食器を購入。

また、燃料費は初期に満タンにしておき、入居者が出るときに満タン返しとする。光熱費、電気、水道、下水道、テレビの受信料は、町で契約し、家賃の中に含まれているとのこと募集したい。

なお、募集は補正予算議決後に行いたい。

子ども子育て支援計画の策定は

問 子ども子育て支援事業計画策定業務委託の内容は。また、何年度からの計画で、アンケートを実施するにあたって浜中町独自の内容は。

ニーズ調査、計画の策定に国などからの補助は。

答 委託料210万円は、第2期浜中町子ども子育て支援事業計画の策定にあたり、ニーズ調査に係る委託料である。30年度中に中学生までの子育て世帯を対象にアンケート調査を実施。専門機関の視点で分析し、31年度の計画策定の際、アンケートのデータを基に総合的な事業を進めることとしている。

計画は32〜36年度までの5年間で、アンケート実施にあたり、国では未就学児や小学校就学児に特化した事業が多いが、浜中町は子育て支援の拡充を行っており、今回は義務教育終了ま

でとし、国が考えるより幅を持たせ、計画を策定することとした。

アンケート内容は浜中町が拡大している施策の効果や現状認識の部分に対し、改善点や意見を求める形になると思われる。標準的なものは委託業者が持っているもので、それを参考に浜中町独自の内容にしていく。

なお、現時点でニーズ調査・計画の策定に特化した補助はなく、計画策定に伴う交付税措置、ニーズ調査は、地方財政措置という表現にとどまっている。浜中町の現状を押さえ、将来の需要を把握していきたい。

議会を

傍聴して

みませんか！

次の定例会は
12月上旬の

予定です。

その他の主な歳出（一般会計）

歳出の内訳	金額
職員住宅改修工事（2戸分）	700万円
ふれあい交流・保養センター改修工事（ふれあい風呂改修）	1404万円
漁業後継者就業交付金（新規4人分）	180万円
避難施設等建設工事監理業務委託料	289万円

人権擁護委員の推薦に同意

天間館りゆう子氏、中村裕子氏の両名は、9月30日付で任期満了となることから、引き続き適任と認め、推薦に同意しました。



天間館りゆう子氏
(霧多布)



中村 裕子氏
(霧多布)

教育委員の 任命に同意

野村孝紀氏は、10月30日付で任期満了となることから、無記名投票の結果、全員賛成で引き続き適任と認め、任命することに同意しました。



野村 孝紀氏 (仙鳳趾)

水道事業会計剰余金を 減債積立金などに積み立て

地方公営企業法により、剰余金の処分は議会の議決が必要。

平成29年度剰余金2374万円のうち1074万円を減債積立金に、300万円を建設改良積立金に、1000万円を自己資本金にそれぞれ積み立てるもの。

決算審査特別 委員会を設置

平成29年度の各会計の決算書が監査委員の意見書を添えて議会に提出されたことにより、議長・議選監査委員を除く10人の議員による委員会を設置し、閉会中の継続審査とした。

町道路線の認定

霧多布市街の新たな避難道路として利用する道路を町道認定し、維持管理する。

- ・路線名 湯沸高台避難道路
- ・起点 霧多布東4条1丁目18番地
- ・終点 湯沸417番地
- ・延長 6883・1m

請願(否決)

浜中町農民組合から

◇北海道でのオスプレイ飛行を直ちに中止することを求める請願について意見書の提出を求めるもの

※町民の生命、財産及び安心・安全な生活を守る立場から、北海道をはじめとしたオスプレイの訓練地域拡大をやめ、国内飛行を直ちに中止することを強く求める。

(賛成4人・反対7人)

意見書(可決)

◇林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

※森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山林における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。

※森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業者や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。

(全員賛成)

可決した意見書は、内閣総理大臣をはじめ関係大臣、衆・参両議院議長に提出しました。

II 工事請負契約を可決II

□湯沸高台避難道路建設工事

(契約先) 赤石・出口経常建

設共同企業体

(契約金額)

6億8418万円

(工期) 平成33年3月31日

□湯沸高台拠点避難地造成

工事

(契約先)

今井・農基開発経
常建設共同企業
体

(契約金額)

3億2832万円

(工期) 平成32年11月25日

□湯沸高台防災広場造成工事

(契約先) 石橋・西森経常建

設共同企業体

(契約金額)

2億2248万円

(工期) 平成33年3月31日

□茶内保育所改築工事

(地中熱利用設備工事)

(契約先) (株)有我工業所

(契約金額)

2億995万円

(工期) 平成31年3月20日

II 財産の取得を可決II

□スクールバス(29人乗り)

1台購入

(取得先) 鉦路トヨタ自動車

(株)吉野店

(取得金額)

666万円

(納期) 平成31年2月15日

全員協議会活動レポート

議会には、2つの常任委員会（総務経済・社会文教）があり、所管事項の調査活動をしているが、議長が主宰する全員協議会で協議検討している事項の報告をします。

新庁舎建設の動向

完成は平成32年12月を
予定。33年1月から
業務を開始！

年度別概算事業費は30年度2875万円、31年度16億983万円、32年度35億2576万円、総額51億6435万円となる。財源は緊急防災・減災事業債41億4340万円を充当でき、その70パーセントが普通交付税に算入される。残る10億2095万円は一般財源を予定。下表は、今後のスケジュール。



霧多布市街地から見た新庁舎イメージ

■ 工事工程

年度	平成30年度			平成31年度												平成32年度																	
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
避難道路	[Progress bar from month 9 of 30 to month 3 of 32]																																
新庁舎敷地	[Progress bar from month 9 of 30 to month 11 of 31]																																
防災広場	[Progress bar from month 9 of 30 to month 3 of 32]																																
役場新庁舎	[Progress bar from month 1 of 31 to month 12 of 31]																																
現庁舎解体	[Progress bar from month 1 of 32 to month 3 of 32]																																
防災貯留槽	[Progress bar from month 4 of 30 to month 6 of 31]																																
防災発電棟	[Progress bar from month 4 of 31 to month 6 of 32]																																
各種倉庫	[Progress bar from month 4 of 31 to month 6 of 32]																																

新庁舎業務開始

一般質問

加藤 弘二 議員



加藤 浜中町における労働環境の実態は。

町長 厳しい状況にある。特養の野いちごでは、50床の入居者を受け入れることができるのに、稼働しているのは42床である。今年3月から臨時職員の募集をしてきたが、未だに充足していない。その他漁業では昆布の陸まわりや酪農ヘルパーが不足している。

加藤 生活環境の不便さに町内に住み着いて働くことを躊躇しているのではないかと。近くに食料品店や、呉服屋・靴屋・日用品店が少なくなった。映画館や音楽ライブなどの機会が無い。

月1回は釧路の病院に通っている人もいます。都市部に比べて生活環境に大きなハンディがある。このハンディを埋めるには、現在も小中学校の教職員に支給されている「へき地手当制度」がふさわしいと思う。浜中町全域を考えると、へき地2級から3級が適当で本俸に15%上乗せする制度でどうか。

町内の住民に遠隔地手当の支給は

すべての住民を対象とした制度の創設は難しい

問

答

町長 教職員への支給は、教員の格差を是正し、教育の機会均等を図るためのもので重要な役割を果たしている。そういう意味で全ての住民対象となると理由づけは難しい。

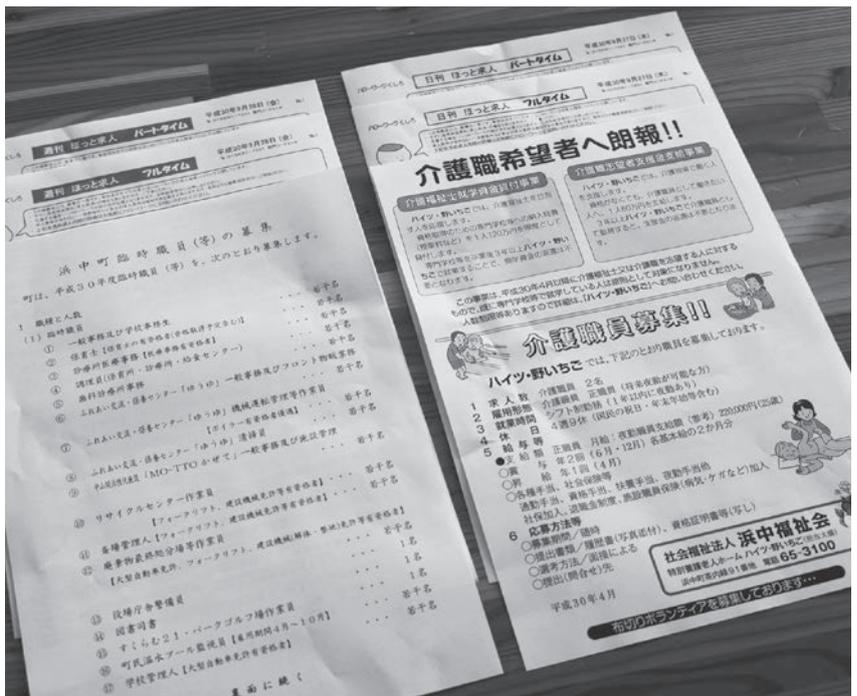
加藤 浜中町は一次産業の町である。牛乳や魚など、日本国民の食料を生産する崇高な職業であり、それを支える住民に対して、賃金に15%の遠隔地手当を提供

するのは理にかなった制度ではないか。

国政では「地方創生」が声高に言われているが、私は教職員であった時代、夫婦してへき地手当15%を受けていて収入の全てをつぎ込んで4人の子どもたちを、希望する高校・大学へと8年かけて行かせることができた。都市とのハンディを

埋めるために、この制度しかないと思っている。

町長 現在、浜中町では町の独自政策として、医療費の無料化を高校卒業まで拡充したり、年額60万円を3カ年支給する就業交付金制度などで、良い効果をあげている。今後も住みよい環境をつくるために英知を働かせて行きたい。



募集チラシ

一般質問

川村 義春 議員



景観条例制定と 景観計画の策定期間は

問

景観アンケート結果を 踏まえ取り組む

答

川村 浜中らしい景観を維持していくには景観条例を制定後に知事と協議、景観行政団体の指定を受けてから景観計画策定となる。その具体的な手順と時期は。また、景観に関する住民の意見を反映する必要があることから、町長は、景観に関するアンケート調査を実施している。その結果の公表と活用は。

町長 景観条例制定の具体的手順は、条例に景観計画を定める規定を盛り込み、さらには、審議会を設置して審議会に諮ることも規定する必要がある。条例と計画策定に向け、今後取り組むが時期的には総合計画の策定を優先し、その後の対応となる。

要を広報に掲載することを考え、詳細はホームページで集計結果を公表したい。活用は、条例制定の根拠と景観計画策定の参考に結果を盛り込みたい。

働くことや稚内市が定めた「小型風力発電等の建設及び運用の基準に関する条例」には住宅棟から100m以上離すなどの規制があるので参考にすべきと提言してきたが検討の結果は。

なお、本町特有の景観は守っていかねばならないと言ふようなアンケート調査の結果であり、公表はダイジェスト版という形で概

川村 景観に悪影響を与える事案として危惧していた琵琶瀬高台への小型風力発電の建設は、計画を断念したと聞いたが、取得した用地は同業者に転売が予想される。昨年の9月定例会で町の自然公園条例に加えることで開発などの抑止力が

稚内市の条例は拘束力が強いので、景観条例や計画と合わせ、提言された条例になるかガイドラインを設けるかを検討したい。

問 簡易舗装道の計画的な整備を

答 現場確認し優先度を見て対応する

川村 町道の維持管理は適正に行われているが一部において、クラック（ひび割れ）凹みなどが見られる。琵琶瀬、渡散布、湯沸地区の計画的な整備を。

町長 社会資本整備交付金を活用した道路路面整備調査に基づき、改修計画の優先度を確認し対応したい。なお、渡散布の補修は継続して100mを予定。



小型風力発電施設（根室市の国道沿い）

一般質問

田甫 哲朗 議員



問 高速通信網整備の 具体的プロセスは

答 携帯通信5Gでの 対応を視野に

田甫 光回線が必要になる
とのことで、茶内地区の企
業から問い合わせがあった
と思うが。

町長 本社のシステム更新
により、光回線程度のデー
タ通信が必要となるが、浜
中町での対応状況に関し問
い合わせがあった。

茶内地区には、光回線は
無くADSLとFWAでの
通信であり、容量について

は直接、通信事業者に聞い
てもらおうよう回答した。

田甫 大容量データ通信は
現状で可能との考えか。

町長 光回線容量には、及
ばないとの認識である。

田甫 別海町など光回線が
整備された自治体では、総
務省補助の「ふるさとテレ
ワーク推進事業」を活用し
企業誘致による人口減対策
に取り組んでいる。猛暑傾
向にある近年、需要は増え
るものと考ええる。

情報取得の手段としてネ
ット業界が新聞・TVを席
巻しつつあり、データなど
の共有も電子メールが主流
となっている。

また、病院へ行かなくて
もネットを介した医師との
面談で、常備薬が処方され
るなどの遠隔医療も実用化
されつつある。

現状のままでは、誘致ど
ころか企業の町外転出も招
きかねず、生活支援の面か
ら移住定住対策に支障と
なる。

さらに、NTTは5年後
に光回線整備地区のADSL
を終了する方針であり、

現行のままではサービス利
用料の増額も懸念される。

高速通信網整備に向け、
財源対策も含めた要望・要
請活動など、具体的行動が
求められるが。

町長 指摘のとおり、その
必要性は痛感している。

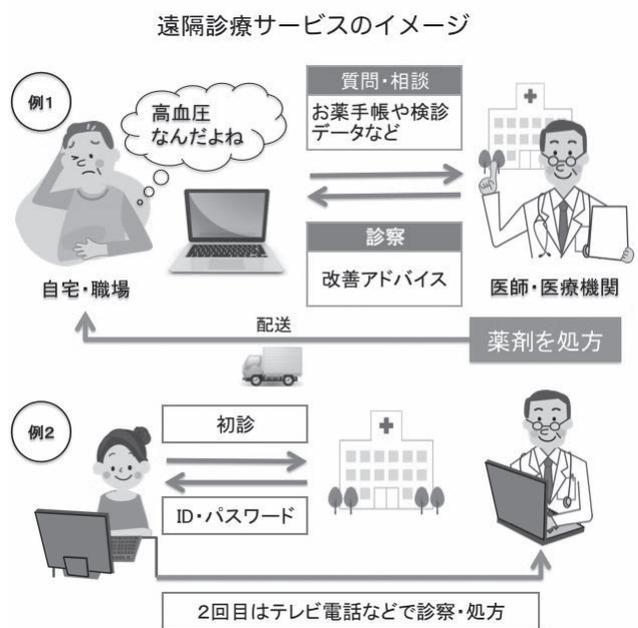
FWA導入時に、通信基
盤整備補助を活用しており
再度の申請は認められてい
ない中、整備費10億円の財
源めどが付けられないとい
える。

ただ、情報通信技術は携
帯電話も含め日々進歩して

いる。総務省では、2年後
に実用化が見込まれる携帯
通信5Gを活用し、光回線
などの有線工事が難しい離
島や山間地の高速通信網整
備を検討している。

事業化が決まれば、新た
な事業補助の可能性も考え
られる。情報収集も含め、
今少し時間をかけ検討して
行く。

※5Gとは、第5世代携帯
通信システムの略で、大容量
の無線データ通信網のこと。
自動運転カーや遠隔操作に
よる高度な手術など医療分
野での活用が期待される。



一般質問

前田 光治 議員



問

「ゆうゆ」の指定管理者
選定理由は

答

条例および審査基準
により選定

前田 「ゆうゆ」の指定管理者制度の活用は、3月末までにプロポーザル方式による選定を予定している。7月の全員協議会で示されている。その後選定・決定された。その後選定・決定された。結果として霧多布温泉「ゆうゆ」プロジェクトに決定したが、得点のみで選定に至ったと思われる、内容に疑問が残る。その理由は。

町長 浜中町公の施設に係る指定手続きに関する条例第4条に掲げる選定基準に照らし、選定したものである。第5条に選定委員会の設置並びに第6条では、選定委員会の組織の規定があり9人の委員で選定したも

のである。

前田 プロポーザル方式は、複数の者により企画・提案してもらい、その中から経験・意欲や取組体制、柔軟性など幅広い基準から選定できるとのことであるが、応募した企業と団体の



指定管理者が運営する「ゆうゆ」

得点差は、わずか0・3点である。

具体的には、1次審査で団体は、58・64点、企業は、60・0点で2次審査では、団体は54・7点、平均で60・77点、企業は53・2点、平均で59・11点であり、1次審査プラス2次審査の得点は、団体が119・41点、企業が119・11点の僅差であり、選定した決定的な理由は。

町長 公募の際に、公募要件のほかに審査基準を定めている。1次審査と2次審査の合計による最高得点者を選定することになっており、指定管理者として選定した。

前田 現在雇用されている従業員は、選定された霧多布温泉「ゆうゆ」プロジェクトに継続雇用となるのか。

町長 先般、指定管理者に選定された霧多布温泉「ゆうゆ」プロジェクトと、現在雇用されている全従業員が面接しており、その中で継続雇用の希望があれば、全員雇用することになっている。

一般質問

菊地 哲夫 議員



問

霧多布保育所の高台移転は

答

保護者と協議を重ね
検討したい

菊地 役場新庁舎の建設が

着手され、道の防災対策にも動きが見られる中、霧多布保育所を改築するとしても、高台移転は予定してないとのことだったが、緊急防災・減災事業債（緊防債）活用の期限も迫っている。保護者の意向調査をはじめ、移転改築に向け早急に取り組むべきでは。

町長 湯沸山高台は風が強

く、霧多布保育所の建設には不適と判断したが、今後予定している保護者との協議、意向を踏まえ、方向性を決定したい。

また、緊防債の期限は平成32年度末なので、期限内の事業完了は困難と思われることから、期限の延長に期待している。茶内保育所改築の財源に充てた過疎債は、霧多布保育所の場合、耐震基準をクリアしていることや、耐用年数が残っていることから、当分の間活用することは難しいと考えている。

菊地 小中学生ならばいざ知らず、保育所児童に高台への徒歩での避難は不可能である。

また、保育所が避難所に指定されていれば、有事の際も、児童は家族と共に過ごすことができ、避難生活の不安・ストレスも軽減できる。

以前視察した高知県黒潮町では、津波浸水地域にあった保育所を、児童の安全確保のため、築後わずか2年程度で高台移転したと聞

く。次代を担ってくれる子どもたちは、いわばマチの『宝』。「風が強い」「緊防債を活用するには期限が短い」とか「過疎債の場合、耐用年数が云々」などと言わず、緊防債の期限延長を国に要望するなど、迅速・積極的な取り組みによって、子どもたちの安心・安全を確保することが、何よりの急務と考える。



霧多布保育所の避難訓練

町長 実施設計が完了し、新庁舎の青写真もでき上がった段階にある。これらを示し、保護者と慎重な協議を重ねたいと考えている。

高台移転を望む声が多いとも予想しているが、いずれにせよ早期着手を実現すべく、緊防債の期限延長や、過疎債活用の弾力的運用などを国・道・関係機関に対し、早急に強く要望して行きたいと考えている。

一般質問

成田 良雄 議員



学校のICT環境の整備促進を

問

総合計画に基づいて環境整備を

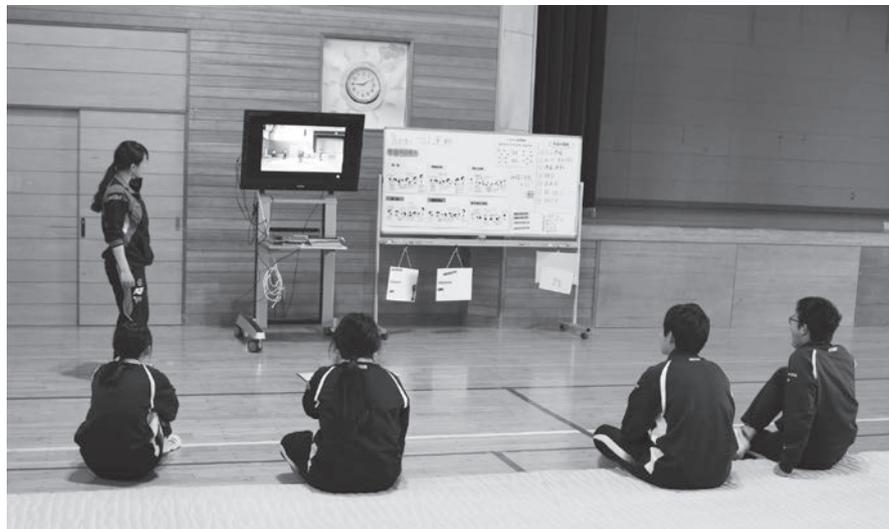
答

成田 平成32年度から本格的に実施される新しい学習指導要領では、小学校のプログラミング教育を必修とするなど、情報活用能力を「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけて、ICT（情報伝達技術）を活用した学習活動を飛躍的に充実することを求めている。国は、30年度から、全国のすべての公立学校で、3

クラスに1クラス分の児童生徒用パソコン、普通教室の無線LAN整備などが実現されるよう地方財政措置を講じている。すべての子どもたちがICTを活用した学習に取り組めるよう学校のICT環境整備を早急に実現していくことが必要。

①本町の学校ICT環境の状況は。
②今後の整備計画は。

インターネット接続は50Mbpsが2校、30Mbpsが6校。普通教室の電子黒板整備は2校で、それに代わるデジタルテレビ32台を合わせると100%整備済。
②平成26年度より設置されているICT特別委員会で検討し、総合計画に基づい



ICT活用授業（散布中）

①本町の防災士の人数は。
②今後の防災士の資格受講の推進は。

雪中学

「浜中学」を学んで

霧多布高等学校
2年A組

戸井 太一



今年で浜中学を学んで2年目となりました。昨年の授業では、自分が住んでいる浜中町の環境や産業の魅

スポーツに親しみ、健康で楽しい
まちをつくりましょう。
(町民憲章より)



ヨーイ・ドン (町民マラソン大会)

力を理解するため、グループごとに浜中町のクイズを作り、クイズを出し合いながら浜中町への理解を深めていくことから始めました。調理実習ではMOTTOを使って浜中町の乳製品を使用して、自分たちで考えたレシピによるピザ作りを体験しました。楽しく作り、美味しく食す中で身近な食材の美味しさを改めて感じることができました。漁業では浜中漁業協同組合青壮年部の方を講師としてお招きし、講話をしていただきました。浜中町は漁業の町と知りながら、講話を聴くと知らないことが多

く、どのようにして漁業が行われているのか、捕れた魚はどこにいくのかを知り浜中町の漁業の魅力を再認識することができました。さらに、新たな観点から地元を見ることができるようになりました。

また、昨年の後期から10の分野(歴史、教育、農業、漁業、福祉、医療、産業、自然環境、観光、都市計画)に分かれてグループワークをしています。昨年得た浜中町の知識をもとにそれぞれのグループが課題を見つけ、意見交換、議論を重ね、課題解決に向けて試行錯誤しながら現在取り組んでいます。

私は歴史グループに所属しています。町史を使用し、今まで行われてきたまちづくり計画の概要、縄文時代から現在に至るまで当時の住民の暮らしや出来事など、普段なかなか目にする事のない『町史』を通して郷土学習を行っています。次年度は最後の浜中学の年になります。今まで体験したこと、学んできた浜中町の様々な魅力をまとめて発表することで、今後の浜

中町の地域活性化に繋げていけるよう取り組んでいきたいと考えています。

- 揮毫 書道部2年A組 金谷 美羽さん
- 読み方 せっちゅうすい
- 意味 何事にも動じない心



表紙の写真

9月1、2日に茶内八幡神社祭が行われました。宵宮祭の伝統行事「奉納相撲」が、保育所・小学生・中学生の順で取り組まれ、境内土俵を取り囲んだ父母・祖父母からの声援を受け力一杯取り組みました。

また、2日の本祭ではお神輿・獅子舞・お囃子・手踊りで市街地を練り歩き、児童生徒・先生と地域が一体となり、活気に満ちた両日でした。

あとがき

この度の、胆振東部大地震で犠牲になられた方々、被災された皆様、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

2次災害的な全道規模の大停電は、本町においても産業・住民生活に多大な影響がありました。電力供給に関しては、

国も含め行政機関は無効であり、電力会社任せの構図が見えました。産業界・町施設・家庭それぞれに備えるほかないものと痛感しました。そんな中、水道・下水道が機能していたことは、精神的にも大きな支えであり、建設業協会の協力と職員の努力に感謝します。

唯一良かったこと、「6日の夜空」は、普段の街中では見えない、満天の星空でした。

(委員 田甫)